

平成25年行政事業レビューシート

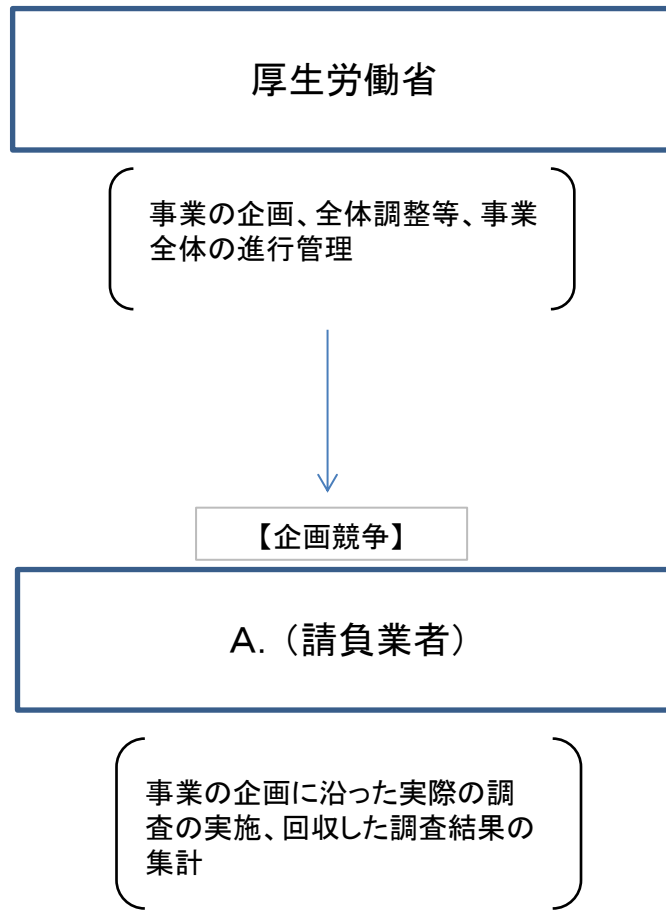
(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（薬剤師等病棟業務実態調査費）		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度（事業開始）		担当課室	医療課	宇都宮 啓		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会保険医療協議会法(昭和25年法律第47号)第8条第2項		関係する計画、通知等	「平成24年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見」(平成24年2月中央社会保険医療協議会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中央社会保険医療協議会の平成24年度答申書附帯意見において、「薬剤師の病棟配置の評価を含め、チーム医療に関する評価について、検討を行うこと」とされているところであり、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討又は検証するために、薬剤師や関係職種の病棟配置や病棟業務に係る実態等の調査を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全病院から抽出した保険医療機関を対象に、勤務医の薬物療法関連についての負担意識や薬剤師の病棟における業務の状況等についてアンケート調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算		11	11	11	11
		繰越し等					
		計		11	11	11	11
	執行額		4	0			
	執行率(%)		37.1	0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本調査は、診療報酬に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本調査は、保険医療機関の業務を対象とした調査・分析・集計等を実施するものであるため、定量的な指標を示すのが困難である。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	薬剤師等病棟業務実態調査費	11	11				
	計	11	11				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	薬剤関連の診療報酬に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、広く国民のニーズがあり、国費により実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	診療報酬に関する基礎資料の収集が目的であるため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	薬剤関連の診療報酬に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料を得るための手段として位置づけており、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	業務を行う上での仕様上、競争入札が困難であるが、企画競争により業務実施に適切な業者を選定することとしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	調査の実施及びとりまとめ等、事業遂行のための必要な費目・使途に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	中央社会保険医療協議会での診療報酬に関する調査方針を踏まえて実施を見送ったものであり、妥当である。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	対象施設に対して直接の調査を実施することにより、直接的な回答を得ることができることから、実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	診療報酬に関する調剤業務等の評価方法について検討を行うための基礎資料として活用している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>平成24年度においては、「診療報酬体系見直し後の評価等にかかる調査」である「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善についての状況調査」の一環の調査として、当該調査とあわせて実施することを見込んでいたが、中央社会保険医療協議会において、当該調査は平成25年度に実施することとされたため、本調査の平成24年度の実施は見送ったところ。</p> <p>なお、事業の実施に当たっては、業務の性質上、企画競争方式以外は困難であり、企画競争方式による契約を実施するが、他の調査事業とまとめて調達を行うなど効率的な執行に努めることとしており、特段の問題はないと判断。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	本事業については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の原因等を精査し、予算を縮減すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	<p>平成23年度においては、「診療報酬体系見直し後の評価等にかかる調査」である「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善についての状況調査」(本調査)の内容に本事業の調査を追加して調査を実施することが年度途中で中医協において認められたことを受け、時間的な制約等も踏まえ、追加的な調査のみを実施したこと、また、平成24年度においては、上述のとおり、当初から本調査とあわせての実施を見込んでいたが、中医協の決定では本調査は実施しないこととされたこともあり、当該調査の実施も見送ったところであり、過去2年度においては大きく不用が生じたところである。</p> <p>しかしながら、平成25年度においては詳細な調査を実施することとし、既に事業に着手しているところであるがその執行率は99.3%となっており(本調査等とあわせての調達)、平成26年度においても、平成26年度診療報酬改定を踏まえた効果や課題等を速やかに検証し、更なる改定に向けた検討を行う必要があることから同規模の調査を引き続き実施することを予定しているところから、平成25年度と同額を要求するものである。</p>				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新23-096	平成24年	938

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※平成24年度は実績が無いため、イメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費					
役務費					
謝金					
その他					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					